

【環境・産業部】

環境保全対策室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
環境保全一般	市開発指導要綱に基づき窓口にて緑化を図るよう指導を行う。	開発指導要綱に基づき、開発面積の3%以上の緑化を指導している。 3月末現在：届出数25件 (累計) 計画件数 4件	2-⑤
	環境保全啓発用品（水切りネット）を配布する。	環境月間(6月)に水きりネットを市内全戸に配布した。	3-②
	環境に関する苦情があれば対応する。	悪臭等苦情に対する立ち入り件数38件（大気0、水質5、騒音3、悪臭3、野焼き26、その他1）	3-⑥
総合環境研究センター事業	環境市民大学及び大学院を開講する。	第5期環境市民大学を9月から平成23年2月までに計6回開講した。	1-②
			1-③
			4-⑨
亀山市地区衛生組織連合会	クリーン作戦、市内一斉清掃、環境美化パトロールを実施する。	8月に環境指導員研修会を開催し、市のごみ処理の現状、指導員の業務内容を研修した。 11月に市内一斉清掃を実施し、2月に美化パトロールを実施した。	2-②
			3-⑥⑧ 4-④
水質等環境調査委託	市内河川等の水質等環境調査を行う。	市内32箇所の河川調査を行いました。実績はホームページで公開した。	3-②
	大気調査を実施し、交通公害に関する状況を把握する。	大気調査を業者に委託し、二酸化窒素・降下ばいじんについて毎月データ計測を実施した。	3-④

環境保全対策室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
環境保全協定 （公害防止協定）	指定化学物質の管理計画の策定及びその提出を指導する。	平成22年度現在 提出対象事業所数 49事業所	3-⑤
	環境保全協定（公害防止協定）を締結する。	平成22年度現在 環境保全協定書 49事業所締結 事前協議 5件	3-⑤⑥
	環境保全協定の締結の際、事業者による自主測定結果の公表など情報提供の促進を項目に盛り込む。	平成22年度現在 環境保全協定書 49事業所中、40事業所について情報提供を受けている。	3-⑧
ダイオキシン類等調査	各種調査の実施箇所については、適宜見直しを行う。また、実績は、亀山市の環境をホームページ等で公開する。	7月から2月にかけて、大気・土壌・底質・河川のダイオキシン調査を行った。	1-⑥
亀山市環境審議会	環境報告書「亀山市の環境」を毎年度作成・公表する。	平成21年度版「亀山市の環境」を作成しました。	3-②
	年1回以上の審議会を開催し、シーゼンブラン等の見直しを行う	4月に審議会を開催し、見直しを行った。	3-②
環境再生事業	亀山里山公園「みちくさ」を利用したイベントを開催する。	5月に春のイベント・田植え体験を行いました。8月にはザリガニ釣り大会を開催した。また、9月には亀山東小学校の5年生を対象に稲刈り体験を、12月にはリースづくりを行った。これらのイベントの合計来園者数は約1,300人だった。	1-①② 2-③④⑨

森林・林業室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
森林公園整備・活用事業	情操教育の場、体験学習の場を提供するため、公園整備を行う。	草刈りや看板の設置等、公園内の整備を行った。検討委員会を3回開催し、開園に向けての協議を行った。	1-① 2-③⑥⑧ 4-⑧
市民の森整備・活用事業	市民や事業所職員が自然に触れ合える機会を創出するため、かめやま会故の森を憩いの場として、「歩ける森」「遊べる森」「育てる森」を目指す森の姿として整備を行っていく。	かめやま会故の森環境整備協議会を3回開催し、協議を行った。また、森づくり体験を実施し、シイタケの菌打ち体験、間伐・木工教室を実施した。	1-①
地球温暖化防止地域推進計画策定事業	事業を3年間継続し、省エネ行動率を50%（H19年度アンケート）から、H24年度に70%に引き上げる。このことにより、二酸化炭素排出量を14.5千t削減する。	エコライフチェックを開催し、これに679世帯が参加した。3月に「かめやま地球温暖化防止フェア2011」を開催した。	3-②
林業振興事業	市内10地区の環境林で森林環境創造事業を推進し、さら区域拡大と事業の進捗を図る。	5地区69.87haで環境林整備を行った。	2-① 2-⑥
	治山事業により土砂流出、山地災害の防止、自然環境に配慮した工法の導入を図る	三重県に対し土砂流出、山地災害の防止、自然環境に配慮した工法を要望した。	2-⑤
	開発案件に対し、適正指導を行う。	北伊勢地域森林計画区域内での案件に対し、開発担当（環境保全対策室）と連携し、開発行為に対し適正指導を行った。（該当案件：5件）	2-①

森林・林業室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
間伐推進事業	利用間伐補助制度により林業事業者への生産活動を支援する。	交付件数：4件 交付額：6,223,451円 利用間伐：49.16ha 作業路開設：9559.77m 搬出材積：888.72m ³	2-①
野生動物等の保護	市民参加による外来種駆除活動を支援する。また、外来種駆除の啓発を行う。	布気町・田茂町・関町富士ハイツの3箇所にて実施された池干し活動支援として、石灰の支給を行った。 里山公園「みちくさ」にて、園内の池の池干し体験を実施した。また、3月に開催した「かめやま地球温暖化防止フェア2011」にて、市民団体にブース出展を依頼し、外来種駆除活動を啓発した。	2-⑦
	自然観察指導員等の育成・紹介により、積極的に自然に学ぶ活動を支援する。	2月5日に実施した亀山市植樹祭において、森林インストラクターを招いた木工教室を行い、小学生に自然と親しむ機会を作った。	2-⑨
林道維持管理業務	工事におけるリサイクル製品の使用を促進する。	建設副産物等の再利用、リサイクル資材等を設計書（仕様書）に記載し請負業者に使用周知行ってきた。	4-③
海と森林を結ぶ交流事業	鈴鹿川流域及び伊勢湾の環境を保全するため、川上、川下の住民が協力して森林再生に向けての森づくりや海の環境美化を進める活動を支援する。	5月に山側（亀山市 関町坂下、加太北在家ほか）にて間伐体験・見学を実施し、7月に海側（鈴鹿市 鼓ヶ浦海岸、白子港ほか）にて海岸清掃や生きもの教室を実施した。	1-④
			4-⑧

廃棄物対策室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
廃棄物収集処理事業	分別方法の周知を徹底する。	収集体制のパターンを洗い出し、新しい収集体制を検討した。しかしながら、周知及び収集カレンダーへの掲載は見送り、実施可能性の検証にとどめた。	4-③
レジ袋削減運動	過剰包装の抑制や買い物袋持参運動の普及促進により、ごみとなるものの発生を抑制する。	7月20日に亀山市レジ袋削減（有料化）・マイバッグ推進会議を開催し、収益金の用途を「エコライフチェック15」への活用と決定。7月27日に鈴鹿市・亀山市レジ袋削減（有料化）・マイバッグ合同推進会議を開催。また、レジ袋辞退率をHPで公表した。	4-①
不法投棄監視事業	市民や道路管理者、近隣自治体との連携、不法投棄監視システムの拡充などにより、不法投棄監視体制の強化を図る。	投棄現場を確認するとともに、地元と協議し回収作業をおこなった。	4-④
	まちをきれいにする条例の周知及び罰則規定等の強化により、不法投棄の防止につとめる。	投棄現場を確認するとともに、地元と協議し回収作業をおこなった。	4-④
環境パトロール	市民や道路管理者、近隣自治体との連携、不法投棄監視システムの拡充などにより、不法投棄監視体制の強化を図る	週2回市内一円において不法投棄監視パトロールを実施した。	4-④
	違法な焼却行為に対しては、指導を行う。	環境保全対策室と協議し、違法な焼却行為に対する指導を行った。	4-⑤
刈り草コンポスト化事業	剪定枝や雑草・家畜ふん尿の有効利用を促進する。	市民の方に多く利用していただくために、配布日を拡大。また、イベントにおいて、PR用コンポストを配布した。	4-②

農政室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
棚田保全事業	坂本棚田野上がりまつりを支援し、都市住民との交流を通じて、里山に対する意識啓発に努める。 (来場者1,000人)	坂本棚田野上がりまつりの開催により、都市住民との交流の場となり、里山保全の意識啓発を図れた。	1-① 2-③
	集落協定による耕作放棄農地の発生防止等の活動に対し交付金を交付する。	第3期中山間地域等直接支払制度(H22～H26)を活用し、集落協定による耕作放棄農地の発生防止等の活動に対し交付金を交付した。 対象団地数…9集落14団地 交付金総額…8,345,661円	2-⑧
	石積み体験を支援し、都市住民との交流を通じて、里山保全に対する意識啓発に努める。(来場者1,000人)	県内外の住民が石積み体験に参加し、地元住民の指導による石積みの伝統技術を習得する等里山保全活動のきっかけとなった。	3-⑦
中山間地域等直接支払事業	集落協定による耕作放棄農地の発生防止等の活動に対し交付金を交付する。	第3期中山間地域等直接支払い制度(H22～H26)を活用し、集落協定による耕作放棄農地の発生防止等の活動に対し交付金を交付した。 対象団地数…9集落14団地 交付金総額…8,345,661円	2-③
ふれあい農園管理事業	使用期間満了などによる速やかな補充、また、維持管理を行う。 (利用率100%)	市民農園については、使用期間満了などによる速やかな補充、また、維持管理を行い、有効活用を図った。(全54区画で100%の利用状況である)また、野菜づくり講習会を2回開催した。	2-④⑧
市民農園管理運営事業	インストラクターによる巡回指導(月1回)により、農薬、肥料の適正な使用等について指導する。	市民農園インストラクターによる巡回指導を毎月実施した。	3-⑦
	コンポストの市民農園での使用、コンポストを使って作った野菜の市場等により、コンポストの利用を促進する。	農園内に刈り草コンポストを設置し利用を呼び掛けることで、ごみの再生利用の推進を図れた。コンポストは、順次堆肥として農園へ還元した。	4-②

農政室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
田園景観推進事業	（耕作放棄地を）市民農園や農業公園として整備、有効に活用し、また、景観形成作物の栽培を促進する。	補助金を交付し、景観形成作物の栽培を促進を図った。	2-④
有害鳥獣による農作物に対する被害対策	電柵等補助、捕獲檻の設置、巡視員による監視、ロケット花火の提供を行う。	電柵設置者への補助金交付、捕獲檻の設置、サル巡視員による監視、ロケット花火の提供を行った。 また、ノザル・メスジカの捕獲・処分を行った。	2-⑥
農業振興用務	農薬の低減のため、病害虫の共同防除事業に対し補助金交付する。農薬の適正使用に関する研修会等へ参加する。	農薬の低減のため、病害虫の共同防除事業に対し補助金交付した（3地区：山下・阿野田・太田）。 農薬の適正使用に関する研修会等へ参加した。 ゴルフ場農薬調査・点検パトロールを県担当者と同行し実施した。	3-⑦
畜産対策等事業	畜産農家に対して定期巡回指導（月2回）や随時指導を行う。	水質検査にて規制基準値を上回った農家へは県担当者と同行し適時に改善への指導を実施した。水質検査及び臭気測定を行い、検査結果を農家へ報告し、適正処理を促進した。 今年度は口蹄疫、鳥インフルエンザ蔓延の関係より、畜産農家への定期的巡回は実施出来なかった。	3-⑦
	県営事業で整備された農地（安知本）に畜産農家のふん尿を肥料として還元し、耕畜連携による農業の推進を図る。	本年度は希望する農家が無かったので実施しなかった。	4-②
地産地消の推進	地産地消活動を行っている生産団体に対し、市内で開催されるイベント等への出店を要請する。	地産地消活動を行っている市内の生産団体に対し、市内で開催されるイベント等への出店を要請し、地産地消の推進を図った。	4-⑥

商工業振興室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
新地域生活交通再編事業（公共交通利用促進事業）	鉄道利用を促進すべく、沿線自治体等と連携し、利用促進活動を実施する。	鉄道事業者への要望活動をJR東海、JR西日本へ実施した。利用促進事業として、今後の鉄道利用者向けの利用促進グッズを作成・配布した。	3-③ 4-⑥
	市内バス路線の再編を図るべく、バス検討委員会等を開催し、効率的・効果的な路線形態等のあり方について検討する。	利用実績及び検討経緯を基に、東部ルート（試行運行）の今後の方針を交通会議にて決定した。 交通会議にて決定した方針を基に3月末に地元説明会を行った。	4-⑥
中小商業レベルアップ事業	事業者がISO14001や県の小規模事業所向けEMS（M-EMS）など環境管理システムを構築できるよう支援する。	研修会においてM-EMS導入推進についてのチラシを配布した。	3-⑧

【文化部】

まちなみ文化財室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
町並み保存一般事業	町並み保存関連住民団体へ補助金等の活動支援を行う。	NPO東海道関宿と「関宿カルタ」普及活動を行った。関宿案内ボランティア活動の支援として謝礼金を交付した。関宿スケッチコンクールの開催支援を行った。	3-⑨
伝統的建造物群保存修理修景事業	石水溪観光協会による石水溪保全事業（石水溪キャンプ地一帯の草刈り、清掃活動）に対し補助金を交付する。	石水溪観光協会による石水溪保全事業（石水溪キャンプ地一帯の草刈り、清掃活動）に対し補助金を交付した。	2-③
歴史街道遺産活用事業			
各種観光情報の提供事務 亀山市観光パンフレット作成業務事業	全市観光パンフレットを作成し、自然資源についての観光情報を提供する。	観光ガイドブックによる情報発信を行った。 また、市民団体によりウォーキングマップが作成された。	2-⑨

歴史博物館

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
市史編さん事業	平成22年までに編集専門部会（自然分野）で自然環境に関する部分の市史を編さんする。	3/28に市長記者会見で発表し4/1にウェブで発信した。	2-⑦

【建設部】

建築住宅室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
公共建築物の建設及び維持修繕	公共建築物の建設及び維持修繕の設計、技術援助等で美観の向上に配慮する。	亀山中学校、関中学校、亀山東幼稚園の改築工事において景観に配慮した建物とした。市営住宅北鹿島住宅の外部を塗り替え美観の向上をはかった。	3-⑩
	建設副産物等の再生利用、リサイクル資材・商品廃材等の使用を進める。	該当工事の中で使用させた。	4-③
	太陽光発電や風力発電など自然エネルギーの公共施設への導入を進める	亀山東幼稚園園舎改築工事に伴い太陽光発電5.5kwを設置した。	4-⑦

維持修繕室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
市単独河川維持事業	管理河川における草刈、堆積汚泥を除去する。	準用河川竜川の草刈りを行った。北山川の堆積除去を1月末～2月にかけて発注予定をしていたが発注出来なかった。	2-②
地域活力基盤創造交付金事業	道路排水の改善に努める。公共工事で発生する建設副産物等の再生利用、リサイクル資材・商品廃材等の使用を進める。	地域活力基盤想像交付金時宜において2路線完成した。	4-③
街路樹管理委託	剪定枝や雑草等の有効利用を促進する。	剪定で発生した刈り草などは、全て刈り草コンポスト化センターへ搬入した。	4-③
市単道路修繕工事等	公共工事で発生する建設副産物等の再生利用、リサイクル資材・商品廃材等の使用を進める。	平成22年度発注工事において、環境に配慮した資材を使用した。	4-③
道路ふれあい月間	国道や林道などのクリーン作戦等の美化運動を推進する。	平成22年度138自治会10,754人の参加があった。	4-④

まちづくり計画室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
調整池管理業務	調整池における草刈、堆積汚泥を除去する。	各調整池の確認と草刈り実施（4調整池）水抜調査（1調整池）を実施した。	2-②
都市基礎調査業務委託	年2回の亀山駅前マナーアップ運動にあわせ駅広駐車場の違法駐車を取り締まる。年1回程度の放置自転車の撤去を行う。	亀山駅前にてマナーアップ運動を2回実施。市管理駐輪場（井田川駅、関駅、加太駅）にて、放置自転車調査実施した。	3-③
市民参画による公園再整備事業	環境美化に関する里親制度など市民参画による公園等の適切な維持・管理を進める。	4団体約130名が新規参加した。（計10団体）	3-⑩
屋外広告物規制監視業務	看板や屋外広告物、放置自転車や放置自動車については、早期撤去に努めるとともに防止対策の強化を図る。	8回パトロールを実施。はり紙163枚、はり札4枚を除却した。	3-⑪
井田川駐輪場管理・放置自転車対策	駅付近の駐車場・駐輪場の充実などにより、公共交通機関の利用促進を図る。	H23.1から駅前駐輪場の放置自転車の調査を開始し、H23.3に撤去・保管した。H23.9に処分した。 井田川駅：自転車92台、原付1台 関駅：自転車50台、原付1台 加太駅：自転車8台	3-③
市単独公園整備事業	地域や公園利用者と計画づくりを行い、利用者ニーズにあった公園へ再整備を行う。	亀山公園多目的トイレ設置（1基）、和田公園や西野公園等で改修工事を実施した。	3-⑩
緑地管理	都市部では緑化の推進と適正管理を推進する。	緑地の草刈や枝払いの業務委託を実施（17業務委託）した。	3-⑩

まちづくり整備室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
合併特例債道路整備事業	バイパスルート計画を行う事で、住環境に配慮し住宅地への通過交通の流入防止の軽減を図る。 （野村布気線・和賀白川線）	修正設計完了、埋蔵文化財発掘調査完了、用地契約1地権者（野村布気線） 橋梁デザイン検討会最終答申、橋梁詳細設計完了、事前工事完了（和賀白川線）	3-③

【上下水道部】

上下水道管理室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
小型合併処理浄化槽設置事業 補助金（補助）	下水道整備区域外においては、合併処理浄化槽の普及促進、浄化槽の適正管理の啓発・指導に努める	小型浄化槽71基を助成した。	3-①

上水道室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
公共下水・農業集落配水道事業に伴う配水管改良工事	配水管改良工事で発生する建設廃棄物副産物の再利用、リサイクル資材、商品廃材等の使用を行う。	施行業者の指導により実施した。	4-③
「水道週間」広報事業	資源の重要性を理解を深める見学会を実施するなど、節水意識の高揚に努める。	広報活動を実施した。また、利用者に節水の促進を啓発し、水漏れをなくすためのパッキンを無料配布した。小学校4年生を対象に、施設見学会を実施した。	4-⑧

下水道室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
流域関連公共下水道事業	公共工事で発生する建設副産物等の再生利用、リサイクル資材・商品廃材等の使用を進める。	管路工事に環境へ配慮した建設資材を洗い出し、設計書に記載し、工事発注を行った	4-③
昼生地区農業集落排水整備事業			
普及啓発事業	下水道等を計画的に整備するとともに、供用開始区域における早期接続を促進する。	下水道への普及率が43.6%になった。	3-①
	市民参加型の水質調査や美化活動、生活排水対策講座などを実施し、生活排水への配慮を促す。	公共用水域の水質保全に関する啓発活動を実施した。整備促進に関する活動を行う団体に対し補助金を交付した。	3-②

【企画部】

行政改革室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
ISO14001環境マネジメントシステム推進事業	市の率先行動及び環境マネジメントシステムを普及啓発する。	22.6.7～11 審査員養成研修 22.7 施設巡回 22.9 AMR I新システム移行 22.10 定期内部監査 23.1.12～14 外部審査 この結果、合格の判定結果を受けた。	1-⑤

情報統計室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
地図情報システム整備調査研究	地理情報システム（GIS）を導入する。	平成23年度当初からの導入を予定し、システム及び機器のリース入札を行った。 平成23年度4月には一部稼働予定となった。	3-⑨ 4-④

企画政策室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
放置自転車対策	亀山駅、下庄駅の放置自転車の対策を総括的に行う。	啓発活動を継続的に実施した。	3-④ 3-⑪
新エネルギー関係	太陽光発電や風力発電など自然エネルギーの公共施設への導入を進める。	住宅用太陽光発電補助件数 133件 事業所用太陽光発電補助件数 0件 新エネルギー発電出力 515.02KW	4-⑦

【総務部】

財務室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
公用車の管理	公用車（特殊業務使用車を除く。）のうち、軽自動車、小型貨物、小型及び普通乗用車について、30台を低公害車に買い替える。（新規購入含む。）	公用車5台を低公害車に買い替えた。	3-④ 4-⑥

人材育成室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
服務	時間外勤務を削減し、資源の使用抑制、地球温暖化防止に努める。	時間外勤務時間削減：44,972時間	1-⑤

【市民部】

市民相談協働室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
各種相談事業	空き地の雑草管理に関して指導する。	今年度も、空き地の伐採及び除草依頼があった場合は、現地確認をして、土地の所有者又は管理者に対して、伐採及び除草の依頼文書を発送した。空き地の伐採及び除草の依頼基準を作成した。	3-⑩
亀山交通安全対策事業	各種交通安全講習会において、経済速度の運行及び車両の適正管理の啓発を行う。	四季の交通安全運動及び亀山市交通安全教育推進員の指導研修会を実施し、交通安全の大切さを啓発した。	3-④
市民活動支援事業	補助を受けている市民活動団体に環境に配慮した活動を行うようお願いをする。また、講座やイベントを開催する際、ちらしやポスターに車の乗り合わせや公共交通機関の利用とアイドリングストップをするよう記載し、来場者に呼び掛ける。	講座やイベント開催のちらしやポスターに車の乗り合わせや公共交通機関の利用とアイドリングストップをするよう記載し、来場者に呼び掛けた。	1-⑤

【健康福祉部】

高齢障がい支援室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
ユニバーサルデザイン（バリアフリー）の普及啓発事業	ユニバーサルデザイン（バリアフリー）の啓発・PRを行う。	「車いす駐車場に停めません」キャンペーン 開催回数：2回 広報掲載：1回	3-⑩

健康推進室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
畜犬登録・犬のふん害防止事業	広報に正しい犬の飼い方等についての記事を掲載し啓発を行う。また、「犬のふん害について」のビラを配布、飼い主に助言する。	広報掲載：3回（5/16, 8/1, 11/1） ビラ及び啓発物品の配布：1,050部（集合注射850部、窓口配布200部）	3-⑪
ファミリークッキング（エコクッキング）事業	エコクッキングによりエコに関する講話と家庭で実践できるゴミの減量等に関する調理実習を開催することで、家庭でのエコ活動に関する意識を高める。	エコクッキングの開催8月23日 アンケートの実施10月	4-②

各保育園

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
環境に関連する園事業	各学校においては、6月5日の「環境の日」を「学校環境デー」として創意工夫ある実践や、総合学習の時間を活用した環境学習を推進する。	「保育園児への環境教育取り組み一覧表」を作成し、その項目に記載の取り組みを実施した。	1-②

【教育委員会】

学校教育室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
学校行事の把握	児童生徒が、総合環境センターの見学等を通じて、私たちの町で出されるごみの処理を学びリサイクルの大切さや身近な環境について考える。	11校中8校実施した。	1-①

教育総務室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
小学校施設維持管理事業	廃食油をリサイクルし、燃料化する。	【上半期実績】 小学校9校・・・1,430kg 関学校給食センター・・・350kg 9月に上半期分を回収、リサイクル済み。3月末に下半期分を回収予定。	4-②
小学校施設建築、面積状況及び統計調査	改築事業時に自然エネルギー導入する。	関中学校、亀山中学校及び亀山東幼稚園の改築で、外壁・屋根断熱、複層ガラス等による断熱、日差しを遮る庇などを施している。採光面では、ハイサイドライト、Hf蛍光灯の採用による高効率な照明に努めた。また、関中学校及び亀山東幼稚園では木を主体とした構造、亀山中学校においては内外装の木質化を図った。設備面では、センサー付照明、自動水栓手洗いなど省エネ型トイレ設備、関中学校及び亀山東幼稚園では深夜電力を利用した土壌蓄熱式床暖房、亀山東幼稚園では太陽光発電設備を設置した。	4-⑦

生涯学習室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
中央公民館活動推進事業	環境をテーマとした公民館講座を開設し、幅広い世代での育成に努める。	中央教養講座の『子育て講座』の中で、環境に関する学習として親子での里山散歩を設けた。この他にも、出前文化講座の9地区で中部電力の職員による地球温暖化についての講義などを設定した。	1-③
生涯学習推進事業	生涯学習人材バンクを整備し、環境部門における講座等で活用する。	22年度の環境部門は10名（21年度より2名増加）、また農業部門へは11人の登録があった。また、農業部門に関しては、3団体に対し8件の問合せがあった。	1-③

教育研究室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
教育指導と支援	全校で学校環境デーに関する学習・啓発・奉仕等体験活動を実施する。	年間を通して、各園・各校で環境学習に取り組んだ。また、22年度はCOP10への参加やゴーヤで緑のカーテンを作るなど、身近なところからCO2削減などについて学ぶ機会をもつことができた。	1-②

図書館

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
図書選定	年間購入書籍の枠内で環境関係書籍の購入数を増やす。	4月から12月までの9ヶ月間に57冊の図書を新規登録し利用者に提供した。	1-②

各幼稚園

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
環境に関連する園事業	幼稚園児への環境教育取り組み一覧表を作成しその項目に記載の取り組みを実施する。	「幼稚園児への環境取り組み表」の通り実施した。環境デーを設定しごみ拾いやごみの分別など身近にできることを進めた。 また、3月に東北関東大震災があり改めて節電や節水について考える機会を持ち指導へとつなげた。	1-②

【消防本部】

亀山消防署

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
防火診断、枯草等の調査及び 防火指導に関すること	空地の雑草管理に関して啓発、指導を実施する。	秋季火災予防運動期間中に井尻町、川合町、井田川町を実施 217/343	3-⑩
	焼却行為による環境への影響や法規制に関する情報提供を行い、焼却自粛に対する協力の呼びかけを行う。	春季火災予防運動期間中にみどり町1～3を実施 193/336	
	違法な焼却行為に対しては、指導を行う。	合計 410/679	

関消防署

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
防火診断、枯草等の調査及び 防火指導に関すること	空地の雑草管理に関して啓発、指導を実施する。	秋季に泉ヶ丘（警）、富士ハイツ73世帯で実施。春季に坂下、沓掛、市ノ瀬62世帯で実施。	3-⑩
	焼却行為による環境への影響や法規制に関する情報提供を行い、焼却自粛に対する協力の呼びかけを行う。		
	違法な焼却行為に対しては、指導を行う。		

予防室

事業名	実施事項（目標）	平成22年度実績	関連施策
危険物許可施設の特別査察	年度ごとに主な対象施設を決め、5年間で150施設以上の特別査察を実施する。	給油取扱所を主な対象として、年間30施設以上の査察を実施した。	3-⑥